

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11)特許出願公告番号

特公平6-11796

(24) (44)公告日 平成6年(1994)2月16日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
C 0 8 J 5/00	C E X	7016-4F		
D 0 1 F 6/14		Z 7199-3B		

発明の数 2 (全 4 頁)

(21)出願番号	特願昭61-80348	(71)出願人	999999999 株式会社クラレ
(22)出願日	昭和61年(1986)4月7日		岡山県倉敷市酒津1621番地
(65)公開番号	特開昭62-236830	(72)発明者	金元 哲夫
(43)公開日	昭和62年(1987)10月16日		埼玉県狭山市入間川1414番地の34
		(72)発明者	佐野 洋文
			岡山県倉敷市酒津1621番地 株式会社クラレ内
		(74)代理人	弁理士 本多 堅
			審査官 小林 正巳

(54)【発明の名称】 ポリビニルアルコール成形物およびその製造方法

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】ポリビニルアルコールの単結晶マットより得られた成形物であって、縦断強度が1.2ギガパスカル以上、引張弾性率が30ギガパスカル以上であるポリビニルアルコール成形物。

【請求項2】強度が1.8ギガパスカル以上、弾性率が50ギガパスカル以上である特許請求の範囲第1項記載のポリビニルアルコール成形物。

【請求項3】粘度平均重合度が1500以上のポリビニルアルコールをその濃度が2重量%以下となるようにして溶媒中で加熱溶解し、得られた溶液を徐冷してポリビニルアルコールの単結晶集合体を析出させ、次いで懸液処理してマット状物を形成させ、これを少なくとも1.5倍

2

【請求項4】粘度平均重合度が5000以上である特許請求の範囲第3項記載のポリビニルアルコール成形物の製造方法。

【請求項5】溶液のポリビニルアルコール濃度が0.5重量%以下であることを特徴とする特許請求の範囲第3項あるいは第4項記載のポリビニルアルコール成形物の製造方法。

【請求項6】マット状物の延伸を、押出延伸と引張延伸とで行なうことを特徴とする特許請求の範囲第3項ないし第5項のいずれか記載のポリビニルアルコール成形物の製造方法。

【請求項7】マット状物の延伸を、全延伸倍率が2.5倍以上となるように行なうことを特徴とする特許請求の範囲